



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュースレター

Today's news Flash



スケート競技フィギュアの成年男子が優勝！

昨年から成年男子の代表で出場している野添紘介（明治大学）選手と昨年は少年の代表として国体に出場し、今年度からは成年の代表として出場している川原星（福岡大学）選手が力を合わせ、見事、フィギュアの成年男子の頂点に立った。

野添選手は、昨年までの経験とこれまで積み重ねてきた努力が実り、SPとFSのトータルにおいて、6位に入賞。また、川原星選手は、新たな成年という舞台にもかかわらず、物怖じせず、磨き抜かれた力と技をリンク上で披露し、個人において見事優勝を果たした。

成年女子は、残念ながら入賞することはできなかったものの、昨年に引き続き出場した藤澤亮子（法政大学）選手とこれからが期待される南里美羅（関西大学）選手を中心に、今後の活躍に期待したい。



アイスホッケー競技 少年男子8位入賞！

アイスホッケー競技の少年男子は、1回戦、岡山県に勝利し、ベスト8を決め、勢いに乗りたいたころであったが、ベスト4をかけての栃木県戦は、0-12で敗れ、5位・6位決定戦の大阪府戦においても1-6で敗れた。また、7位・8位決定戦においては、強豪滋賀県と対戦し、善戦したものの1-2で惜敗した。しかし、8位入賞は、平成18年第61回北海道大会以来であり、今後の励みとなる結果を収めることができた。



ショートトラック競技 成年女子3000mリレー優勝！

ショートトラック競技の最終日、成年女子3000mリレーに福岡県選抜チームが出場した。この競技は、関東や甲信越・関西等の強豪県がエントリーする中、九州で唯一出場した。昨年の大会は、準優勝を収め、本県役員等のもとより、他県からも注目を集められる状況の中でレースがスタートした。序盤から、強豪県がリードするレースとなったが、最後まで諦めず猛追する福岡県は、見事優勝を収め、8点を獲得した。今回の優勝は、少年を含む選手たち全員に、新たなことに挑戦する素晴らしさと最後まで諦めないことの大切さを胸に刻ませるものとなった。





スケート・アイスホッケー競技会終了！ 天皇杯9位、皇后杯8位！

第70回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会では、男女総合成績9位、女子総合成績8位となり、昨年の男女総合成績より順位を1つ上げた。また、獲得点においても昨年より18点多く114点を獲得した。最後まで諦めない「チーム福岡」が今年も良いスタートを切ってくれた。男女総合成績第8位の埼玉県とは、僅か4点差であり、選手たちの活躍により2月の下旬に群馬県で行われるスキー競技会にいい形で襷をつなげることができた。選手をはじめ、監督・コーチや関係者に対し、改めて感謝したいと思う。今後のチーム福岡の躍進が大いに楽しみである。



Result



1月30日（金）・31日（土）の競技結果！

【フィギュア】

- 成年男子 第1位 川原 星・野添 紘介
- 成年女子 第11位 藤澤 亮子・南里 美羅

【アイスホッケー】

- 少年男子 福岡県0-12 栃木県
- 福岡県1-6 大阪府
- 福岡県1-2 滋賀県（8位確定）

【スピードスケート】

- 少年男子1500m予選 平井 瑠哉（予選敗退）
- 少年男子5000m予選 張 旭（予選敗退）
- 少年女子3000m予選 横山 世奈（予選敗退）

【ショートトラック】

- 成年男子1000m 竹内 悠（予選敗退）
- 豊福 麗（予選敗退）
- 少年女子1000m 南里 塔子 5位
- 簗原 亜季（予選敗退）
- 成年女子1000m 辰巳 香子 6位
- 弥中 美由（予選敗退）
- 少年男子1000m 山崎 健人 3位
- 床次 秀夫（予選敗退）



2月1日（日）競技結果及び成績！

【ショートトラック】

- 成年男子5000mリレー 6位（竹内、井上、豊福、山田）
- 成年女子3000mリレー 1位（辰巳、古賀、弥中、野田）
- 成年男子500m 竹内 悠（予選敗退）
- 豊福 麗（予選敗退）
- 成年女子500m 辰巳 香子（予選敗退）
- 弥中 美由（予選敗退）
- 少年男子500m 山崎 健人 5位
- 床次 秀夫（予選敗退）
- 少年女子500m 南里 塔子 5位
- 簗原 亜季（予選敗退）

【総合成績】

| | スケート競技 | | スケート・アイスホッケー男女総合成績 |
|----|----------------|----------------|--------------------|
| | 男女総合成績 | 女子総合成績 | |
| 1位 | 北海道 219点 | 北海道 107点 | 北海道 299点 |
| 2位 | 長野県 195点 | 山梨県 101点 | 長野県 210点 |
| 3位 | 愛知県 142点 | 長野県 91点 | 愛知県 162点 |
| 4位 | 山梨県 117点 | 愛知県 81点 | 山梨県 127点 |
| 5位 | 大阪府 101点 | 神奈川県 55点 | 大阪府 126点 |
| 6位 | 神奈川県 100点 | 群馬県 54点 | 東京都 124点 |
| 7位 | 福岡県 99点 | 大阪府 51点 | 青森県 122点 |
| 8位 | 群馬県 95点 | 福岡県 47点 | 埼玉県 118点 |
| 9位 | — | — | 福岡県 114点 |